

林野火災を想定した実践訓練

町消防団・益城西原消防署合同訓練

2月17日、町消防団と益城西原消防署による合同訓練が潮井自然公園で実施されました。

この訓練は、乾燥した気象状況により林野火災が発生しやすい状況に備え、遠距離中継送水の技術や火災時の対応知識を共有し、消防団と消防署の連携を強化する目的で行われました。

訓練では、公園付近の山林を火災現場と想定し、布田川から小型動力ポンプで給水。400 m以上ホースを延長し中継送水を行い、円滑な消火作業を実施しました。



㊦消防署員による中継送水の説明 ㊦火点へ勢いよく放水



㊦不織布で米を包みかまどベンチで炊飯 ㊦リレー形式で水運び

親子で実践 災害時どうする？

安永4町内 親子で防災キャンプ

2月18日、安永4町内公民館で「親子で防災キャンプ」が行われました。

安永4町内自主防災クラブと町地域おこし協力隊の共催で、小学生と保護者約40人が参加。町職員による防災倉庫資機材の説明や、かまどベンチを使った炊飯、水運びリレーなどが行われ、参加者たちは親子で楽しみながら災害時の対応を再確認しました。

チラシのイラストを担当した広安小4年の^{おつかてん た}大塚天太さんは、「ごはんを炊くのが楽しかった」と話しました。

「共助」によるまちづくりを高く評価

東無田地区 令和5年度ふるさとづくり大賞受賞

東無田地区が、総務省が主催する令和5年度ふるさとづくり大賞の奨励賞(総務大臣表彰)を受賞しました。

この賞は、各地で「ふるさと」をより良くしようと頑張る団体や個人を表彰するもので、熊本地震による被害を受けた際、日頃から築き上げてきた住民同士のつながりを「共助」として発揮し、自主性と独自性に富んだ取り組みにより復興を進めた点が評価されました。

宮永^{みやながずのり}和典東無田区長は、「地区住民が一丸となった取り組みが認められました」と喜びを語りました。



2月15日、町長報告に訪れた(左から)宮永区長、東無田復興委員会代表^{たきましんいち}田崎真一さん

Pickup Plus+
今月のプラス



2月14日、町使用料審議会^{いだたかのり}(井田貴志会長)、町公の施設のあり方検討委員会(井田会長)がそれぞれ、審議による結果を町に答申しました。施設使用料については町の算定案を妥当とした上で、3つの附帯意見を提案。複合施設(仮称)については、指定管理者による管理運営が有効とした上で、6つの附帯意見を提案しました。